

14.2₁

509

業務功程報告書 第四回 大正九年 度

神奈川県種畜場



始



1421
509

正
九
年
度

業
務
功
程
報
告
書

(第一回)

神
奈
川
縣
種
畜
場

142A-509

業務功程報告書目次

第一、總說 一 六



一、沿位置革
二、地勢積
三、地積
四、建物ノ種類及坪數
五、經費
六、業務員
七、業務
八、業務

第二、種牛 七 九

一、飼養法
二、管理法

大正
11. 1. 27
内交

三、種付

二

第三、種豚

九……十三

一、飼養法

二、管理法

三、種豚ノ生産並配付頭數

第四、種鶏

十四……十八

一、飼養法

二、管理法

三、産卵個數

四、種卵配付個數

五、種卵配付郡市別表

第五、衛生

十八……十八

第六、事務概要

十八……二十

一、講習講話並品評會審査

二、通信指導

三、文書收受發送

四、印刷物配付

五、實地見學者

附 錄

一……一八

種畜場位置

種畜場規程

種畜場長事務取扱

種畜場々務規程

傭員心得

參觀者心得

種畜場事務

種畜種付規程

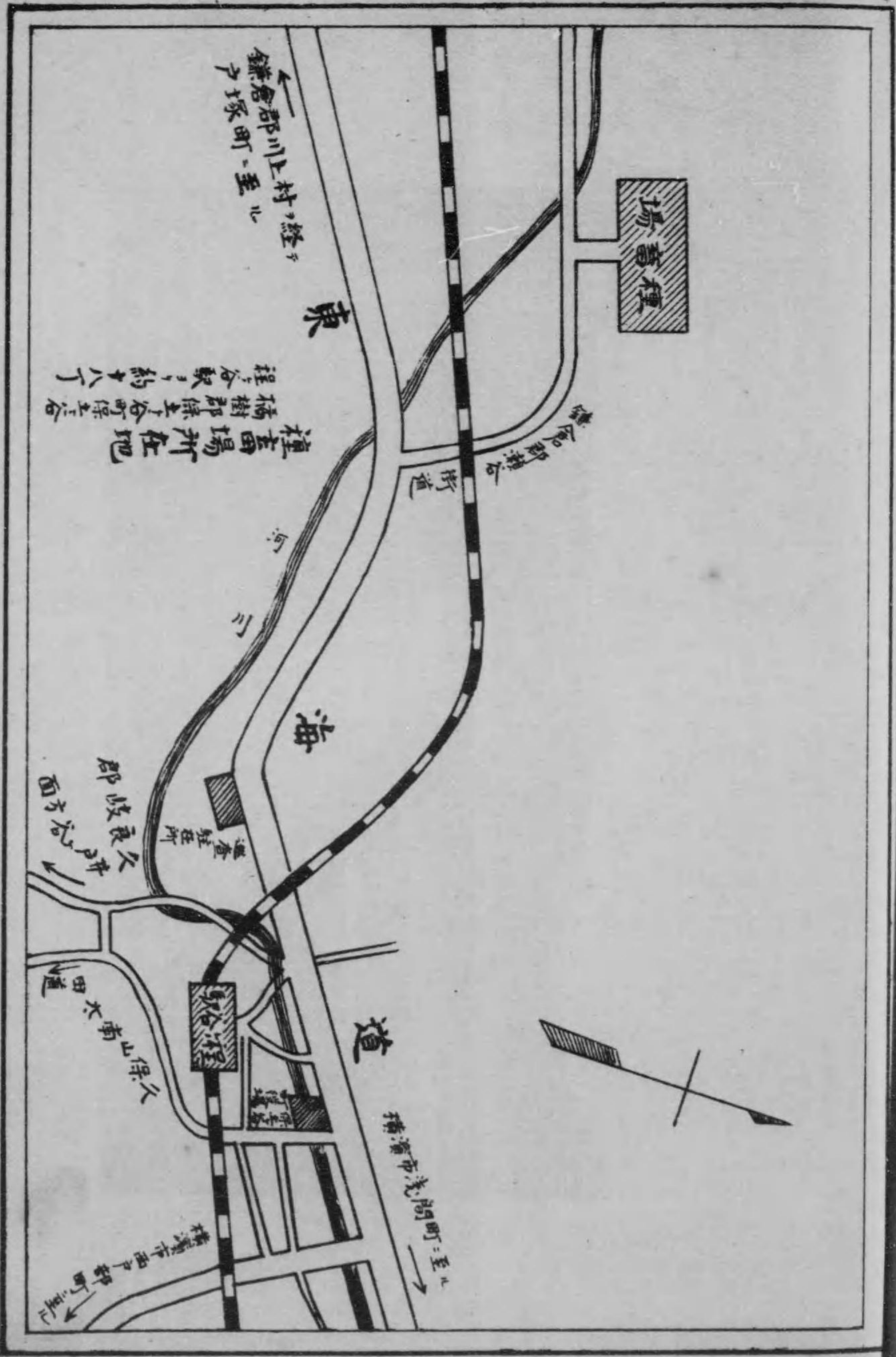
種畜配付規程

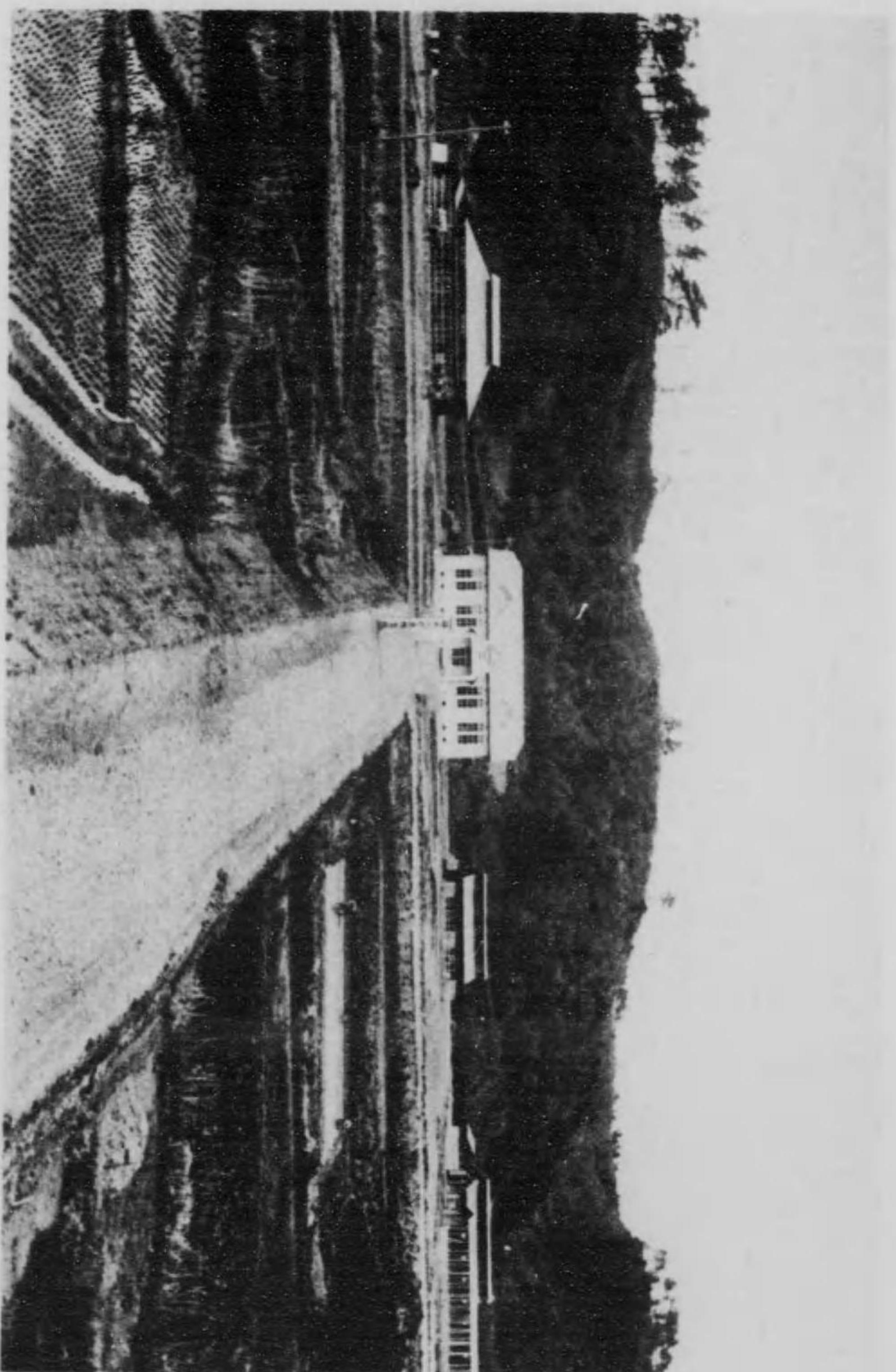
種付種畜ノ種類

配付種畜ノ種類

種牛受託育成規程

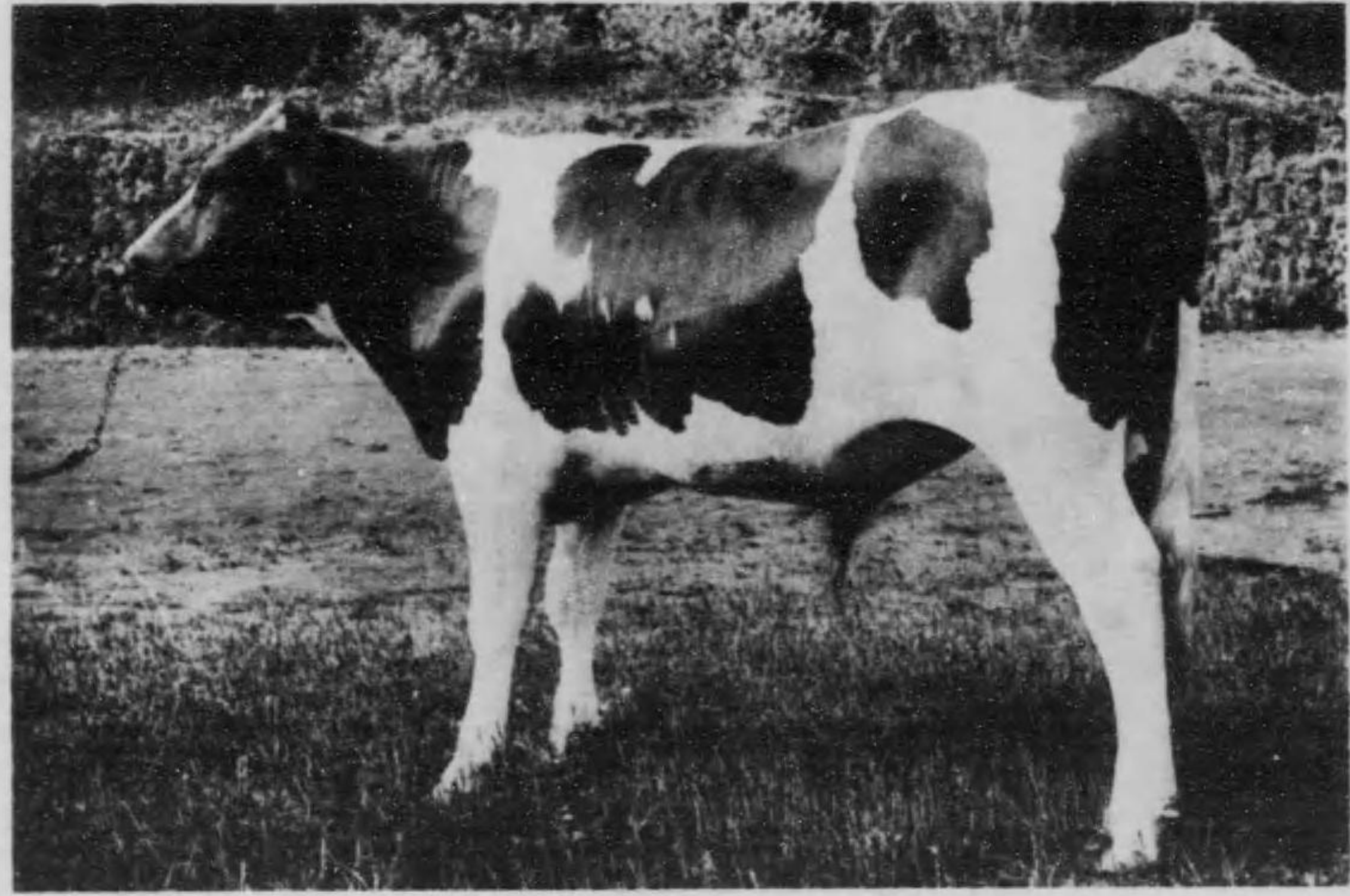
三



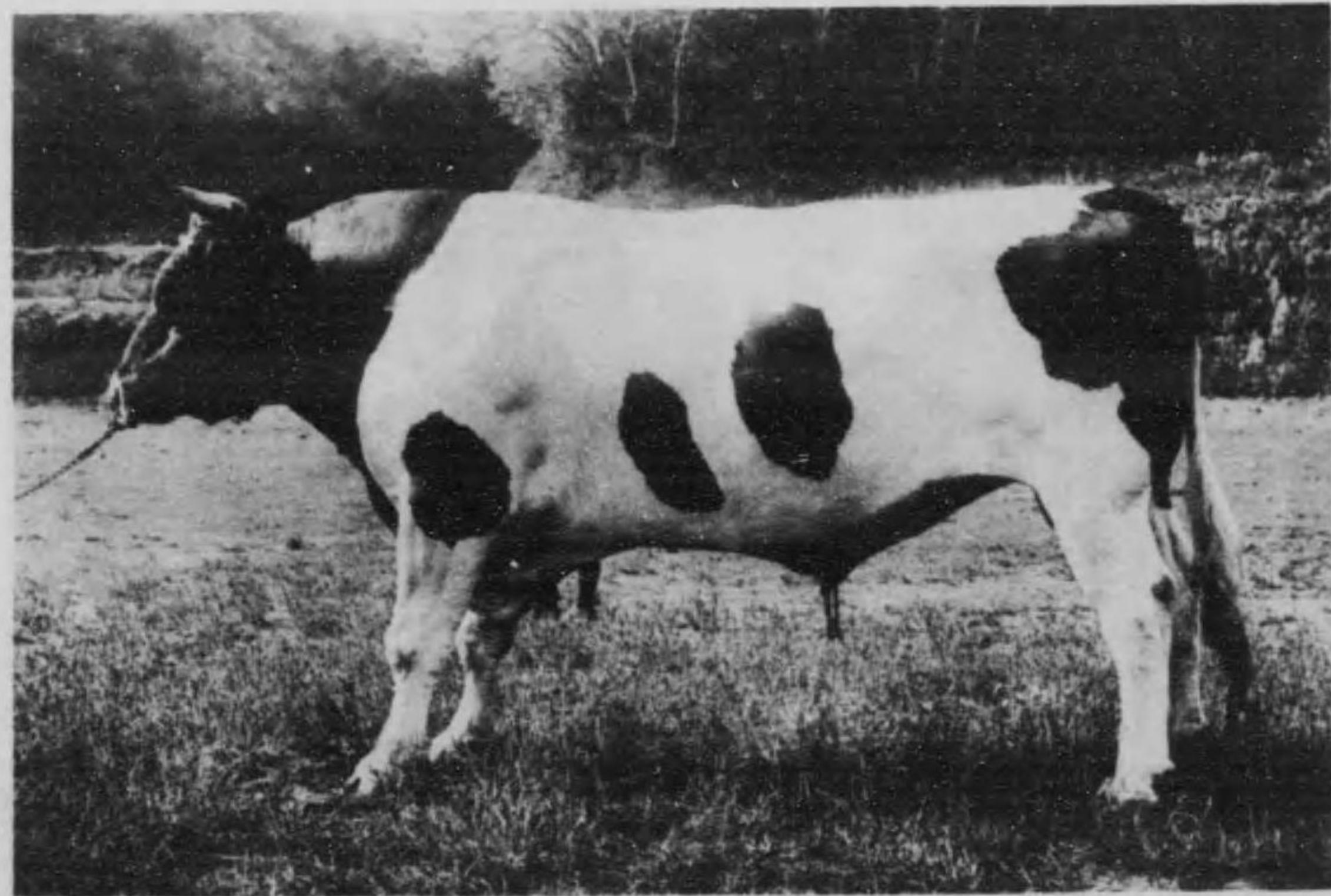


半ハ竣工セル種畜場

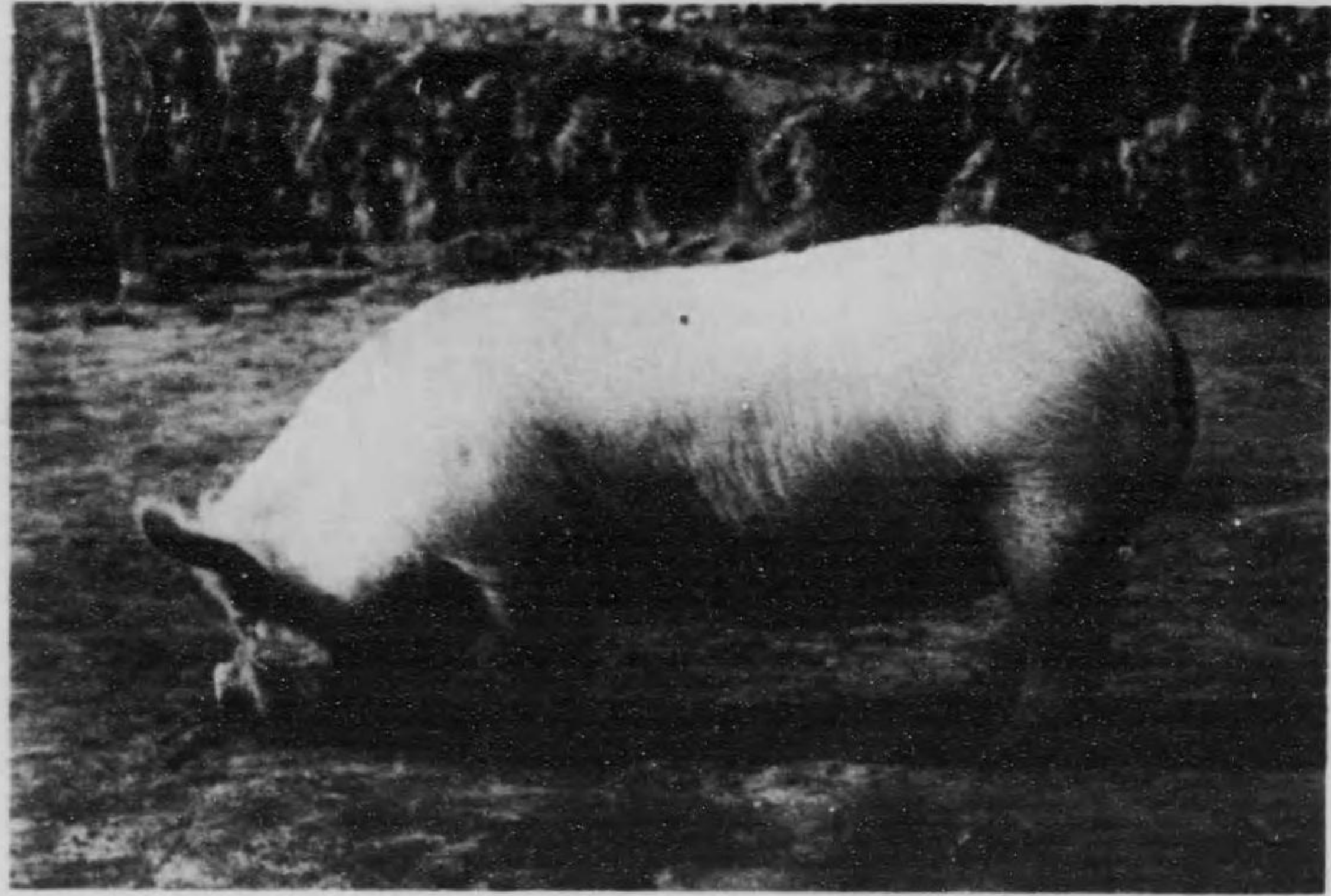




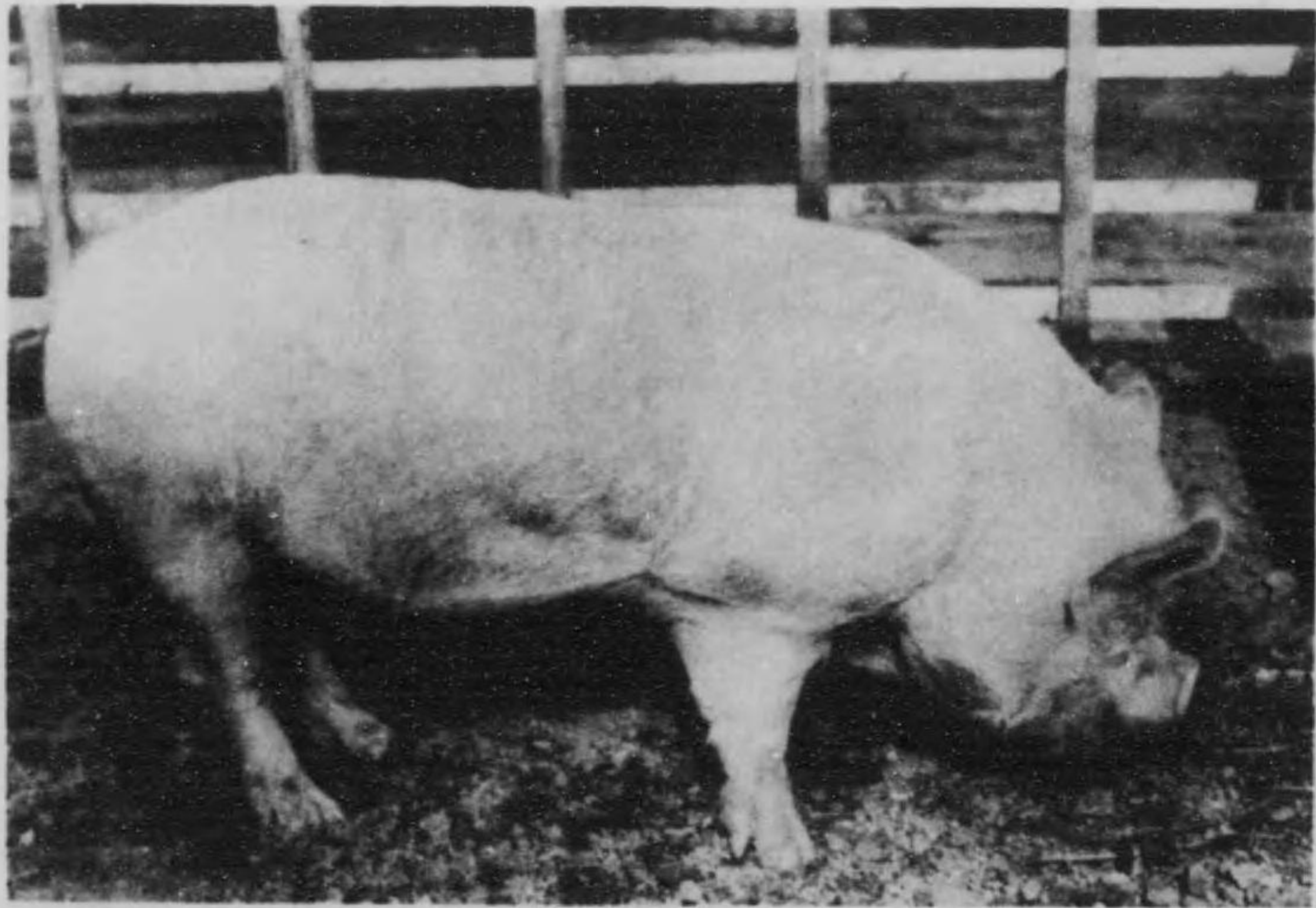
ホルスタイン種牡牛第六ロードヨーヘム號



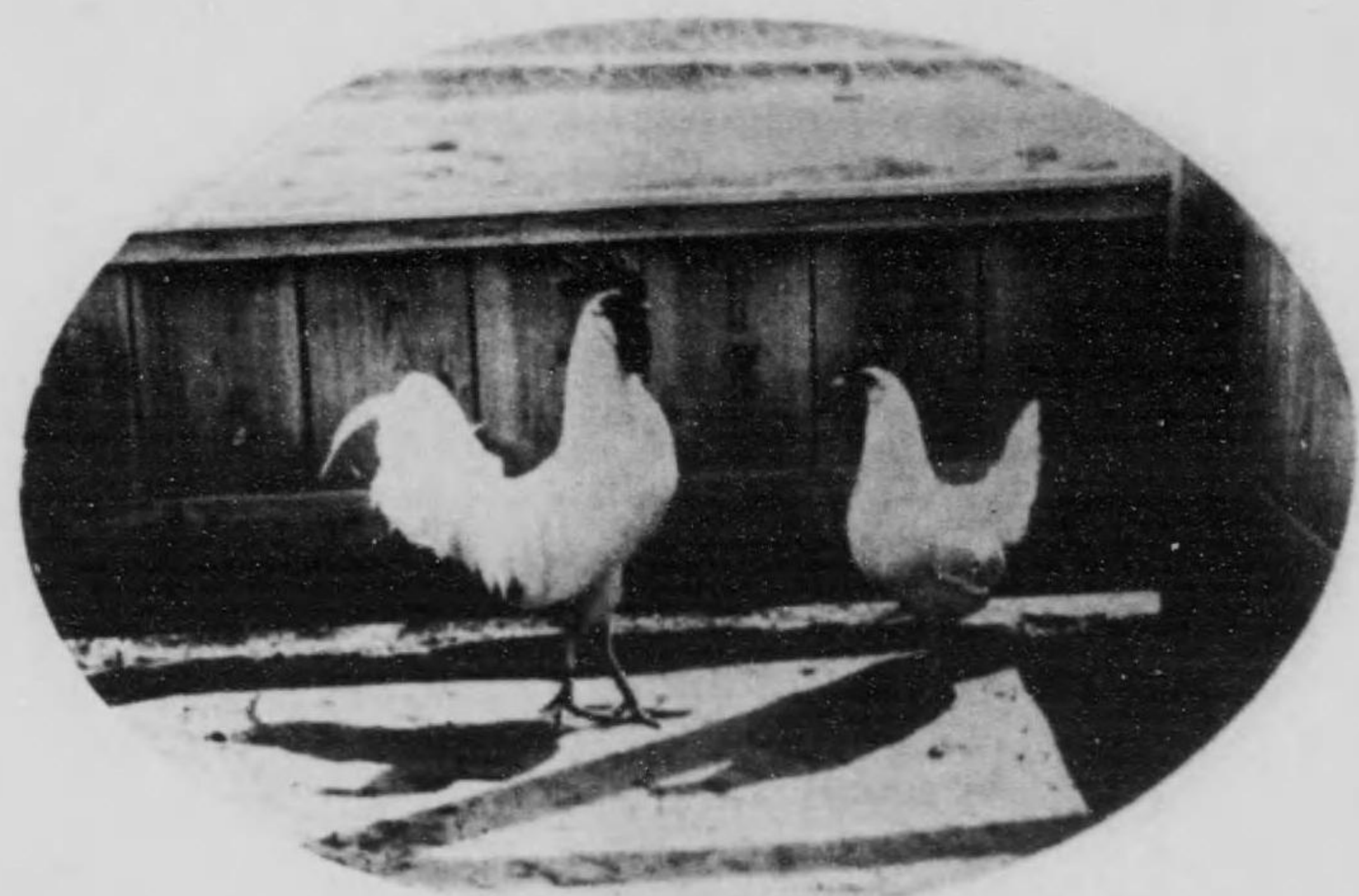
ホルスタイン種牡牛 ユンゲタウルス號



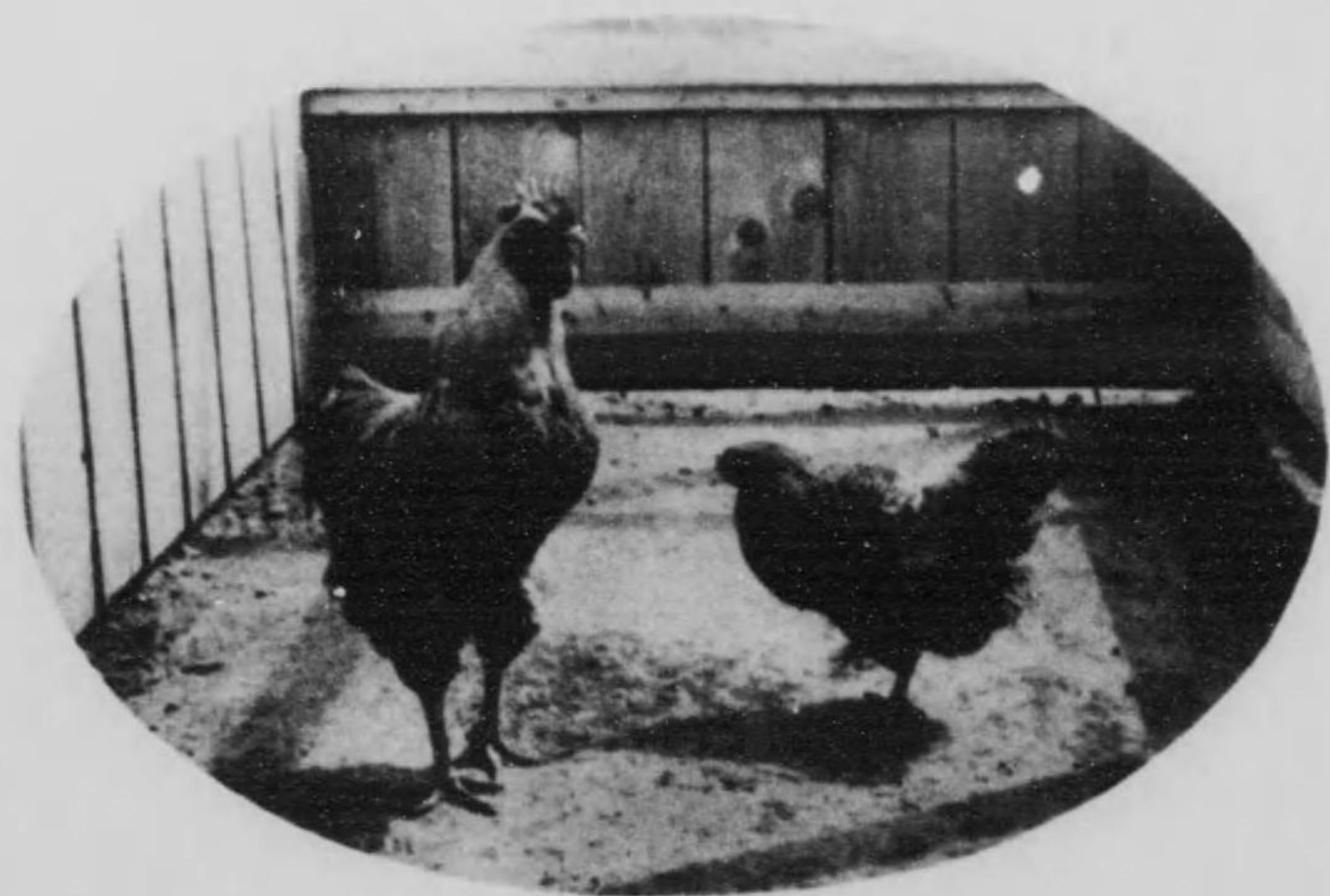
ヨークシャー種 牝豚濱野 第七號



ヨークシャー種 牝豚菱華 第三號



白色レグホーン種鶏

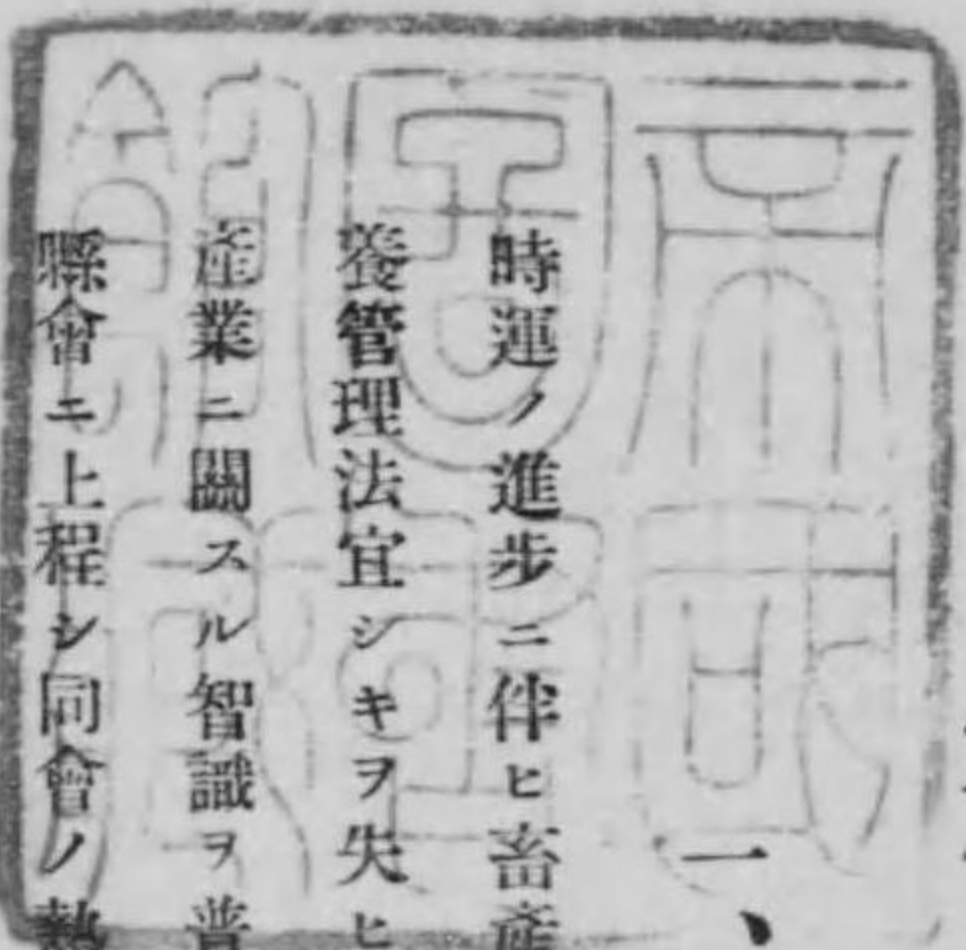


横班プリマスロック種鶏

大正九年度業務功程報告書

第一 總 說

一、沿 革



時運ノ進歩ニ伴ヒ畜産業漸ク興リ家畜ノ飼養數逐年増加シツ、アリト雖胤種劣等ノモノ多ク且一般ニ飼養管理法宜シキヲ失ヒ生産能力劣レルモノ尠カラス依テ種畜場ヲ新設シ之カ種類ノ改善増殖ヲ勸メ畜産業ニ關スル智識ヲ普及シ以テ益々斯業ノ發達ヲ計ルヘク茲ニ諸般ノ調査ヲ遂ケ大正八年十二月ノ通常縣會ニ上程シ同會ノ熱誠ナル贊同ヲ得大正九、十年度ノ繼續事業トシテ設置スルコトニ決定シ農商務省令第六號道廳府縣種畜場規程ニ依リ農商務大臣ノ設置認可ヲ受ケ大正九年四月十三日縣廳ニ於テ事務ヲ開始シ位置ヲ橘樹郡保土ヶ谷町保土ヶ谷ニ選定シ同八月十六日畜舍其ノ他ノ建設ニ着手同十年一月十二日ヲ以テ第一期工事竣成ヲ告ケタルニ依リ同月廿日ヨリ種畜種禽ヲ收容シ(但シ種豚ノ一部分ハ都合上十二月三十日ニ收容ス)同年二月一日ヨリ事務ヲ本場ニ移シ諸般ノ業務ヲ行ヒ今日ニ至レリ

二、位 置

本場ハ橘樹郡保土ヶ谷町保土ヶ谷ニ在リ縣廳ヲ距ル西北二里十町程ケ谷驛ヨリ東海道ニ沿ヒ北西約十八

町鎌倉郡瀬谷村ニ通スル縣道ノ沿線ニシテ汽車ヨリ昨前ニ眺メ交通頗ル便ナリ (見取圖前掲)

二

三、地 勢

本場ハ地形平坦ニシテ東西ニ長ク北ニ山腹ヲ背ヒ南方ニ向ツテ緩傾斜ヲ以テ展開シ夏ハ比較的涼シク冬ハ温暖ナリ土質ハ粘質壤土ニシテ耕耘ニ適シ用水ハ湧泉アリテ之ヲ導キ水質佳良飲料ニ適ス

四、地 積

本場ノ用地ハ田地四反七畝二歩 畑地一町〇三畝四歩山林七畝十歩計四千七百二十六坪ノ民有地ヲ借入レ建築用地及運動場ハ之レヲ平坦ニ整地シテ使用セリ其細別左ノ如シ

地 積	積
建 築 用 地	一七五坪
運 動 場	一
其 他	四五五坪

五、建物ノ種類及坪數(本年度落成セルモノ)

名 稱	種 類	棟 數	坪 數
事 務 所	洋 館	一	四八、〇
	平 家 建		

牛 豚 鶏 釜 牧 飼 堆 便 廊	計
舍 日 舍 同 舍 同 兼 室 同 場 同 舍 同 及 下 所	本 式
料 夫 屋 置 肥 所	
一 二 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
三〇、〇 四四、〇 一三、六 二〇、〇 六、〇 六、〇 八、〇 一七五、六	

六、經 費

(一) 本年度ニ於ケル豫算左ノ如シ

款 項	目	豫 算 額
勸 業 費		一〇、八三六、〇〇〇
種 畜 場 費		一〇、八三六、〇〇〇

修繕費	場費	雜給	俸給
一〇〇〇〇	七、五二八〇	一、四九八〇	一、七一〇〇

四

七、場員

(一) 職員

任命年月日	異動年月日	職名	氏名
大正九年五月十四日		場長(縣產業技師)	吉武輝人
同 年六月十二日	大正九年十二月十三日 依願免職	書記	川島直吉
同 年九月三十日		產業技師	北本彌三郎
同 年同月同日		同 業技師	矢津四郎
大正十年二月二十一日		同 業技師	河田太郎
大正九年九月三十日		助産業主事	長田兵次

(二) 備員

採用年月日	備名	氏名
大正九年十二月二十日	牧夫	仲川熊五郎
同 年同月同日	同	平野はつ
大正十年一月二十日	同	大木兼吉
大正十年三月二十九日	同	伊坂富造
大正九年十二月二十日	小使	平野金太郎

八、業務

- (一) 本場ノ事業項目左ノ如シ
- (イ) 種畜種禽ノ繁殖育成
- (ロ) 種畜種禽種卵及牧草種子ノ配付種畜ノ種付並受託育成
- (ハ) 飼料ニ關スル試験並調査

五

- (ニ) 畜産及畜産工業ニ關スル試験調査講習講話實地指導
- (ホ) 共進會品評會等ノ出品審査
- (ハ) 家畜家禽ノ衛生事項
- (ト) 業務成績報告書ノ刊行配付
- (チ) 畜産ニ關シ特ニ必要ト認メタル事項
- (二) 本年度ニ於テ施行セル主ナル事業左ノ如シ
 - (イ) 種牝牛ノ飼育種付
 - (ロ) 種豚ノ飼育繁殖種豚ノ配付
 - (ハ) 種鶏ノ飼育種卵ノ配付
 - (ニ) 講習講話實地及通信指導
 - (ホ) 品評會ノ審査

(ハ) 家畜家禽ノ衛生施設

第二種 牛

大正十年一月二十日種牝牛候補トシテ「ホルスタイン」種一頭購入、同一月二十二日國有、同一月二十六日縣有種牝牛「ホルスタイン」種各一頭ヲ收容シ飼育管理ヲ行ヒ民有種牝牛ニ種付ヲ行ヘリ種牝牛ノ年度末現在左ノ如シ

種類	名 號	性	生年月日	先 色	産地	血 統	摘 要
ホルスタイン種	ユングタウルス號	牝	明治四十五年三月十八日	白黒斑毛	和 蘭	父タウルス號 母スピゲル五號	縣 有
同	ケイウキリアム號	同	大正六年十一月廿八日	黒白斑毛	千葉縣	父ウヰリアム二號 母第三朝日號	國 有
同	第六ロードヨーヘム號	同	大正九年二月五日	同	小岩井農場	父ロードヨーヘム號 母インゲルチエム號	候補 牝牛

右ノ外大正十年三月三十一日役用兼種用トシテ「シンメンタール」系改良和種牝一頭（大正九年六月二日生）ヲ熊本縣下ヨリ購入育成中ナリ

一、飼養法

飼料ノ給與ハ常ニ動物ノ個性及營養狀態ヲ參酌シ且經濟的飼料ヲ選擇シテ之ヲ定ム而シテ藁桿類ハ一寸内外ニ截切シ燕麥又ハ大麥、大豆粕其ノ他ノ濃厚飼料ヲ混淆ノ上温湯ヲ注キ揉飼トシ一日二回乃至三回給與シ給水ハ給飼後微温湯ヲ任意ニ飲用セシム

飼料標準 (冬期)

種別	品目	種別	品目
種	牝牛	鼓	五七
		燕麥又	三六
積	十五ヶ月	大豆粕	六七
		亞麻	八四
同	十ヶ月	油	三三
		食鹽	三五
同	外月	干牧草	二、〇〇〇
		切藁	五〇〇
同	内月	藁	一、五〇〇
		藁	三貫内外
同	外月	藁	三〇〇
		藁	同

一、管理法

畜牛ノ取扱ハ懇切ヲ旨トシ可及的清潔運動畜舎ノ換氣 温度ノ調節ニ留意シ日々畜體ノ手入拭掃 蹄ノ清潔ヲ行ヒ寒威凜烈又ハ風雨強カラサル限リハ午前午後ノ二回牽運動ヲ行ヒ其ノ他ハ構内ノ繫抗ニ繫留又ハ木棚内ニ放テ自由ノ運動ヲ課セリ 牧夫ノ日課左ノ如シ

月	給飼	畜舎掃除	給飼	休憩	牽運動	給飼	退場
自十二月	前八時	同	正午〇時	同上	後〇時半	後三時半	後四時
至十二月	同	同	同	同	同	同	同
自十一月	同	同	同	同	同	同	同
至十一月	同	同	同	同	同	同	同
自十月	同	同	同	同	同	同	同
至十月	同	同	同	同	同	同	同
自九月	同	同	同	同	同	同	同
至九月	同	同	同	同	同	同	同
自八月	同	同	同	同	同	同	同
至八月	同	同	同	同	同	同	同
自七月	同	同	同	同	同	同	同
至七月	同	同	同	同	同	同	同

三、種付

本場設立日尙淺クシテ一般ニ周知セラレサルカ爲メ種付出願少ク其ノ出願セル種牝牛ハ検査ノ結果顆粒性腺炎ニ罹レルヲ發見シ種付不適當ト認メ之ヲ拒絕シ夫々治療ヲ施シタリ

第三種 豚

大正九年十二月三十日「ヨークシャー」種七頭購入同十年一月二十日同種五頭縣立農事試驗場ヨリ保管轉換ヲ受ケ外ニ試驗用一頭計十三頭ヲ飼養シ其ノ生産仔豚中配付年齢ニ達シタルモノハ種畜配付規程ニ依リ縣下希望者ニ配付シ其ノ他ハ目下育成中ナリ 種豚ノ年度未現在左ノ如シ

種類	名	號	性	生年月日	毛色	産地	血	統	購入先
ヨーク種	子安オリエント第一號	一號	牝	大正七年一月十五日	白毛	英國	父アプレストウツド、母ヒレストン	アプレストウツド、バグラー三世號	子安園
同	子安オリエント第二號	二號	同	同	同	同	同	同	同
同	子安撫子第一號	一號	同	同	同	本縣	父アリストクラット	アリストクラット	同
同	子安白根第二號	二號	同	大正八年九月十五日	同	同	父アリストクラット	アリストクラット	同
同	子安月ヶ瀬第一號	一號	同	大正八年七月廿四日	同	同	父クラン	クラン	同
同	子安雪姫第一號	一號	同	大正八年七月廿六日	同	同	父アリストクラット	アリストクラット	同
同	子安嫩草第三號	三號	同	大正九年四月廿八日	同	同	父アリストクラット	アリストクラット	同
同	子安山櫻號	號	同	大正九年十二月九日	同	同	父ビツカ	ビツカ	同
同	濱野第七號	七號	同	大正八年三月廿五日	同	同	父衣相	衣相	同
同	濱野第八號	八號	同	同	同	同	父同	同	同
同	子安菱華第三號	三號	牡	大正八年三月廿二日	同	同	父アリストクラット	アリストクラット	同
同	佐野五號	五號	同	大正八年十一月卅日	同	同	父黒第	黒第	同

前表ノ外大正十年三月三十日「ジューロック、ジャージー」種牡一頭試験用トシテ購入飼育シツ、アリ

一、飼養法

飼料ハ左記配合標準ニ依リ動物ノ營養状態ニ應ジ多少ノ酌酌ヲ加ヘ湯ヲ注加シテ粥狀トナシタルモノ成豚及離乳前ノ仔豚ニアリテハ朝(八時乃至九時)夕(三時半乃至四時)ノ二回ニ母豚及離乳後ノ仔豚ニハ朝(八時乃至九時)晝(正午十二時半乃至一時)及夕(三時半乃至四時)ノ三回ニ分與ス而シテ仔豚ノ給飼ハ生後三十日乃至四十日目ヨリ始メテ漸次増加シ發育ノ程度ニ依リ生後五十日乃至六十日内外ニ於テ斷乳シ生後約九十日ニ達シ體格體質共ニ優良ト認ムルモノニ限り種畜配付規程ニ依リ特價ヲ以テ出願者ニ配付セリ(詳細別項)

飼料標準

種別	品目	數	米	糠	麥	糠	大豆	粕
成豚	豚	一四五		四一〇		二〇〇		
母豚	豚	二一五		四八〇		三〇〇		
離乳前ノ仔豚	豚	二〇		三〇				

生後二ヶ月ノ仔豚	四五	五五	一	一五
生後三ヶ月ノ仔豚	六五	七五	一	二五

一、管理法

種豚ノ取扱ハ懇切ヲ旨トシ日々刷毛ヲ以テ皮膚ノ梳拭ヲ爲シ體ノ汚染部ハ微温湯ヲ以テ洗淨シ常ニ清潔ヲ保チ仔豚ハ生後一週間内外ハ葦草中ニ暖爐装置ヲ施シテ保温ニ努メ母豚ノ産後ハ特ニ安靜ヲ保タシメ其ノ他種豚ハ雨雪ノ日ヲ除キタル外日々午前九時ヨリ午後三時マテ運動場ニ放飼シ自由ノ運動ヲ課シ豚舎ハ日々朝ノ給飼後汚染セル敷藁及糞ヲ排除シ新ニ敷藁ヲ加ヘ室内及飼槽内ヲ洗滌シ毎月一回舎内外ノ大掃除ヲ行ヘリ

三、種豚ノ生産並配付頭數 (自一月至三月)

種別	牝	牡	計	摘要
配生	二四	一七	四一	
付産	五	二	七	

斃	二	七	早産ノ爲メ
育成	一七	二七	

種豚配付出願十九頭ニ對シ配付シタルモノ (K)何號ノ耳標ヲ附ス) 左ノ如シ

種類	名號	性	生年月日	配價格付	住所	氏名
ヨーク種	縣第六號	牝	大正十年一月十四日	七〇〇〇	鎌倉郡中和田村養豚組合	美濃口久治
同	縣第八號	牝	同 一月十七日	六〇〇〇	同	同 杉山宅太郎
同	縣第三號	牝	同 一月十六日	七〇〇〇	愛甲郡小鮎村下古澤養豚組合	同 杉山宅太郎
同	縣第九號	牝	同 一月十五日	六〇〇〇	高座郡寒川村倉見養豚組合	脇 富太郎
同	縣第一號	同	同 一月十七日	六〇〇〇	同	今井和親
同	縣第二號	同	同	六〇〇〇	都筑郡二俣川村	永野新吉
同	縣第四號	同	同 一月十四日	七〇〇〇	鎌倉郡立農事講習所長	鳴海熊之助

第四種 鶏

一四

大正十年一月十八日ヨリ實用鶏五種類雄八羽雌二十二羽計三十羽ヲ飼養シ其ノ産卵ハ種畜配付規程ニ依ル出願者ニ對シ特價(一個金拾錢ヲ)以テ配付セリ (詳細別項)
飼養種鶏ノ年度末現在左ノ如シ

種 類	羽 數	孵 化 年 月 日	産 地	摘 要
白色レグホーン	七三 雌雄	大正八年四月十三日 大正九年五月十五日	本 縣	二雄五雌 縣立農事試驗場ヨリ保管轉換 一雄二雌 鈴野氏ヨリ寄付
褐色レグホーン	二一 雌雄	大正九年二月五日	同	小宮氏ヨリ寄付
黒色ミノルカ	五二 雌雄	大正八年五月二日 大正九年五月十六日	青森縣	縣立農事試驗場ヨリ保管轉換
横斑プリマスロック	二一 雌雄	大正九年四月五日	宮城縣	宮城縣牡鹿郡伊達松園ヨリ購入
名 古 屋	五一 雌雄	大正八年四月二十五日	愛知縣	縣立農事試驗場ヨリ保管轉換

一、飼養法

飼料ハ左記配合標準ニ依リ動物ノ營養狀態ニ顧ミ多少ノ斟酌ヲ加ヘ朝八時乃至九時夕ハ三時乃至四時ノ二回ニ給與ス而シテ左記飼料中小麥及青菜ノ半量ヲ除キタルモノヲ能ク混合シ湯ヲ加ヘ練餌トシテ朝一回ニ與ヘ夕ハ小麥及青菜ヲ混シタルモノヲ粒餌トシテ給與シ水ハ泉式給水器ヲ使用シ給餌後約三十分ニシテ給與セリ

飼 料 標 準 (十羽對一日量)

品 名	給 與 量
米 糠	七〇 <small>g</small>
麥 糠	三三 <small>g</small>
穀	二五 <small>g</small>
小 麥	一六五 <small>g</small>
魚 粉	四七 <small>g</small>
青 菜	一五〇 <small>g</small>

其他副飼料トシテ貝殻石片木炭末等ヲ適宜少量宛給與セリ

二、管理法

一、種鶏ノ取扱ハ特ニ懇切ヲ旨トシ粗暴ノ行爲ヲ戒メ降雨雪ノ日ヲ除キタル外日々午前八時ヨリ午後四

一五

時乃至四時半マデ運動場ヲ開放シ自由ニ運動セシメ尙鱗脚病ノ豫防ノ爲メ時々微温湯ヲ以テ鶏脚ノ洗滌ヲ行ヒタリ

一、排糞及舎内外運動場ノ掃除餌箱及給水器等ノ洗滌ハ毎日之ヲ行ヒ産卵箱ノ巢糞ハ一ヶ月ニ一回宛更新シ汚染シタルトキハ其ノ都度取換ヘ常ニ鶏舎ノ内外及器具類ヲ乾燥清潔ニ保チ殊ニ夜間賊風ノ豫防ニ努メ鶏ノ保健上ニ留意セリ

三、産卵個數

(自一月至三月)

種 類	産卵個數
白色レグホーン	二二二
褐色レグホーン	七二
黒色ミノルカ	一〇八
横斑ブリマス	四三
名古屋	一四四
計	五五八

四、種卵配付個數

(自一月至三月)

種 類	出願個數	配付個數	配付價格
白色レグホーン	二四九	一〇〇	一〇〇〇
褐色レグホーン	一〇〇	三三	三三〇〇

種 類	出願個數	配付個數	配付價格
黒色ミノルカ	一四四	六二	六二〇〇
横斑ブリマス	一五〇	二八	二八〇〇
名古屋	九二	六〇	六〇〇〇
ロードアイランド	二八		
レドアイランド	一二		
淡色ブラマ	七七一	二八二	二八二〇〇
計			

備考 種畜配付規程發布前ノ産卵ハ食用トシテ拂下ヲ爲シタリ

五、種卵配付郡市別表

(自一月至三月)

郡市	白色レグホーン	褐色レグホーン	黒色ミノルカ	横斑ブリマス	名古屋	ロードアイランド	淡色ブラマ	計	配付個數	配付價格
横濱市	六四	二二	四七	二七	三三			一七三	四	二八
橋樹郡			一		三			二	三	
都筑郡		一〇	二五	一五				五〇	一〇	一〇
鎌倉郡	二〇		二五	一五				六〇	二〇	三〇
計										

高座郡	九〇	四二	二五	二七	二六	三	二五	二四	一〇	三
中郡	二	三	六	六	三	三	六〇	一〇	三	三
足柄上郡	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
足柄下郡	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
愛甲郡	四	八	八	二	一	一	三	三	三	三
計	二四九	一〇〇	一四〇	一五〇	九二	二六	七二	一〇〇	三三	三三
										二八二

第五 衛生

動物ニ及ボス有害感作ヲ未發ニ豫防シ健康ヲ増進シ完全ナル育成及種付ヲ遂ケムカ爲メ特ニ各個體ノ衛生状態ニ留意シ毎月二回健康診斷護蹄、體重及體尺ヲ檢測セリ而シテ「ホルスタイン」種第六ロードヨ一ヘム號ハ牽入當時ヨリ咽喉加答兒ニ罹レルモ相當治療ヲ加ヘタレハ數週ニシテ全快セリ

第六 事務概要

一、講習講話並品評會審査

講習講話實地指導並品評會審査ノ爲メ技術員ヲ派遣シタルコト左ノ如シ

郡市別	出張		回数	日數
	會種別	張		
津久井郡	講習會	一	一	一
高座郡	講習會	一	一	一
鎌倉郡	講習會	一	一	一
愛甲郡	講習會	一	一	一
足柄下郡	養豚品評會	一	一	一
		三	一	三

二、通信指導

近時畜産熱漸ク勃興シ家畜ヲ飼養スルモノ著シク増加スルニ伴ヒ飼養管理繁殖疾病ノ豫防、治療法等ニ關スル指導照會ヲ爲スモノ寡カラス依テ夫々書面又ハ直接懇篤ニ之カ指導ヲ爲シ以テ其ノ發達ヲ促セリ

三、文書收受發送

文書收受並發送件數左ノ如シ

- 一、發送件數 十七件
- 一、收受件數 百九件

四、印刷物配付

種畜種付並配付規程二千部印刷シ縣下各郡市長並各町村長其ノ他畜産關係業者ニ配付シタリ

五、實地見學者

實地見學者ノ主ナルモノハ畜産家青年會員學生官衙職員及畜産關係諸團體職員等ニシテ其ノ數三百十餘名ヲ算セリ

附錄

種畜場諸規程

種畜場位置

(神奈川縣告示第一三九號
大正九年四月八日)

神奈川縣種畜場ヲ橘樹郡保土ヶ谷町大字保土ヶ谷ニ設置シ大正九年四月十三日開場ス
但シ當分ノ内事務ハ神奈川縣廳内ニ於テ之ヲ取扱フ

種畜場規程

(神奈川縣告示第一四〇號
大正九年四月八日)

第一條 種畜場ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一、種畜種禽ノ蕃殖育成
- 二、種畜種禽種卵及牧草種子ノ配付種畜ノ種付並受託育成
- 三、飼料ニ關スル試験並調査
- 四、畜産及畜産工業ニ關スル試験調査講習講話實地指導
- 五、共進會品評會等ノ出品審査
- 六、家畜家禽ノ衛生事項
- 七、業務成績報告書ノ刊行配付
- 八、畜産ニ關シ特ニ必要ト認メタル事項

第二條 種畜場ニ左ノ職員ヲ置ク

場 長
技 師
技 手
書 記

第三條 場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ知事ノ指揮監督ヲ承ケ種畜場全般ノ事務ヲ掌理シ所屬職員以下ヲ監督ス

場長事故アルトキハ上席ノ職員其ノ職務ヲ代理ス

第四條 技師技手ハ場長ノ指揮ヲ承ケ場務ニ従事ス

書記ハ場長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ノ事務ニ従事ス

第五條 場長ハ主管事務ニ關シ職名若ハ場名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得

第六條 種畜ノ種付配付種禽種卵ノ配付種畜ノ受託育成其ノ他業務執行ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

種畜場長事務取扱

(神奈川縣訓令第一〇六號)
大正九年四月十三日

一、場長ハ左記各號ノ事項ヲ專決處分スルコトヲ得

一、職員以下ノ出張

二、助手以下ノ備入解備及賞罰

三、職員以下ノ看護歸省墓參轉地療養私事旅行除服出仕

二、場長場務ニ關シ細則又ハ規程ヲ制定若ハ改正シ又ハ報告書ヲ刊行配付セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

三、場長ハ前年度ノ業務成績ヲ毎年四月三十日限り知事ニ報告スヘシ

種畜場々務規程

(神奈川縣指令產農第六六四七號)
大正十年一月八日

第一條 本場ニ左ノ係ヲ置ク

一、業 務 係

二、庶 務 係

第二條 各係ノ分掌事項左ノ如シ

業 務 係

一、種畜種禽ノ蕃殖育成ニ關スル事項

一、種畜種禽種卵及牧草種子ノ配付種畜ノ種付並受託育成ニ關スル事項

- 一、飼料ニ關スル試驗並調査ニ關スル事項
- 一、畜産及畜産工業ニ關スル試驗調査講習講話實地指導ニ關スル事項
- 一、共進會品評會等ノ出品審査ニ關スル事項
- 一、家時家醫^{カク}ノ衛生ニ關スル事項
- 一、畜産ニ關シ特ニ必要ト認メタル事項

庶務係

- 一、文書ノ住復ニ關スル事項
- 一、文書類ノ編纂保存ニ關スル事項
- 一、諸令達編纂加除ニ關スル事項
- 一、業務成績報告書ノ刊行配付ニ關スル事項
- 一、機密ニ關スル事項
- 一、場費ニ關スル事項
- 一、構内取締ニ關スル事項
- 一、財産ノ保管ニ關スル事項
- 一、他係ニ屬セサル事項

第三條 場員ノ事務分擔ハ場長之ヲ指定ス

第四條 本場ニ到達シタル公文書ハ庶務係ニ於テ之ヲ收受シ其ノ用件ヲ收受簿ニ登載シ場長ノ檢印ヲ受ケ主務者ニ交付スヘシ

第五條 親展書ハ親展簿ニ宛名及發信者ヲ記載シ主務者ニ交付スヘシ

第六條 本場發送文書ニハ發第何號收受文書ニハ受第何號ト記入スヘシ

第七條 諸文書ハ歷年會計ニ關スル文書ハ會計年度ニ依リ更新ス

第八條 機密文書ハ場長ノ指揮ニ依リ處理スヘシ

第九條 場員出勤シタルトキハ即時自ラ出勤簿ニ捺印スヘシ

第十條 場員疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ依リ出勤スルト能ハサルトキハ即日其ノ事由ヲ具シ場長ニ届出ツヘシ

第十一條 場員疾病ニ依リ缺勤一週間ニ及フトキハ診斷書ヲ添へ場長ニ届出テ爾後一週間毎ニ同様届出ツヘシ

第十二條 場員執務時間中疾病其ノ他ノ事故ニヨリ外出セムトスルトキハ場長ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條 場員出張シタルトキハ歸場後五日以内ニ復命スヘシ但シ事ノ輕易ニ屬スルモノハ口頭ヲ以テ復命スルトヲ得

第十四條 家族又ハ親戚ノ喪ニ丁リタルモノハ忌服ヲ届出ツヘシ

第十五條 職員退出ノトキハ諸文書ヲ收藏シ所管ノ鍵印判等保管ヲ要スヘキモノハ宿直員ニ附托スヘシ

- 第六條 宿直及日直ハ技手又ハ主事補助手一名宛交替勤務スヘシ但必要アルトキハ臨時増員スルコトアルヘシ
- 第七條 宿直時間ハ勤務時間終了後ヨリ翌日執務時間ノ開始ニ至ルマテトス
- 第八條 宿直及日直員ニ於テ取扱ヒタル事項ハ宿直日誌ニ詳記シ翌日場長ノ閱覽ニ供スヘシ
- 第九條 宿直及日直員ハ時々場内ヲ巡視シテ其ノ取締ニ任シ非常ノ警戒ヲ爲シ日直ハ參觀者案内ノ任ニ當ルヘシ
- 第十條 宿直及日直日ニ缺勤者アルトキハ逐次々番ヲ以テ勤務シ缺勤者ハ隨時償勤スヘシ但シ新任職員ハ就職ノ日ヨリ五日間及三日以上ノ出張ノ前日又ハ歸場ノ當日ハ宿直ヲ免除ス
- 第十一條 宿直及日直中到達文書ハ親展ヲ除ク外披見シ又宛名親展ニシテ至急ト認ムルモノハ速ニ受信者ニ送達スヘシ
- 第十二條 場員ハ宿所ヲ定メ若ハ變更シタルトキハ場長ニ届出ツヘシ
- 第十三條 場員備員印鑑ヲ變更シタルトキハ直ニ場長ニ届出ツヘシ
- 第十四條 本則ニ規定ナキモノハ大正六年二月廳訓第一號神奈川縣廳處務細則ヲ準用ス

備員心得

(神奈川縣指令産農第六六四七號)
大正十年一月八日

- 第一條 牧夫小使其ノ他備員ハ職員ノ指揮ヲ承ケ業務ニ従事スヘシ
- 第二條 勤務時間毎年左ノ如シ但シ業務ノ都合ニ依リ延長スルコトアルヘシ

四月ヨリ五月マデ	自午前七時三十分 至午後五時三十分
六月ヨリ八月マデ	自午前六時三十分 至午後六時
九月ヨリ十月マデ	自午前七時 至午後五時
十一月ヨリ一月マデ	自午前八時 至午後四時
二月ヨリ三月マデ	自午前七時三十分 至午後四時三十分
- 第三條 前條規定時間前ニ出勤シ事務所ニ就キ自ラ出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第四條 牧夫ハ別ニ定ムル日課ニ依リ服務シ終了後ハ雜務ニ従事スヘシ
- 第五條 業務ノ繁閑ニ依リ互ニ相補助シ男牧夫ハ現員交代ニ宿直スヘシ
- 第六條 業務ニ差支ナキ限り各員ニ對シ毎月隨時指定シテ二日休暇ヲ與フ
- 第七條 常ニ衛生ヲ重シ場内及器具ヲ清潔ニ保チ家畜ヲ愛護シ器具ヲ叮重ニ取扱フヘシ
- 第八條 日曜祝祭日ト雖缺勤スルコトヲ得ス
- 第九條 疾病又ハ忌引ニ依リ缺勤セムトスルトキハ届出ツヘシ若疾病ノ爲缺勤一週間以上ニ涉ルトキハ診斷書ヲ添へ届出ツヘシ但シ事故ノ爲缺勤セムトスルトキハ豫メ許可ヲ受クヘシ
- 第十條 非常事變及動物ニ異常アルヲ認メタルトキハ直ニ場員ニ報告シ其ノ指揮ニ従フヘシ但シ急ヲ要

スル場合ハ便宜應急處置シ直ニ場員ニ報告スヘシ

八

參觀者心得

(神奈川縣指令產農第六六七號)
大正十年一月八日

一、參觀セムトスル者ハ受付ニ其ノ旨ヲ通シ應接室ニ備付ケノ參觀者名簿ニ氏名ヲ記録シ案内ヲ求ムヘシ

一、大祭祝日及十二月二十八日ヨリ翌年一月四日マテヲ除ク外毎日午前九時ヨリ午後四時マテ參觀セシム但シ獸疫豫防上必要アルトキ又ハ參觀者ニシテ不都合ノ所爲アリト認ムルトキハ參觀ヲ拒絕スルコトアルヘシ

一、參觀者ハ動物ニ觸レ或ハ食飼等ヲ與フヘカラス

種畜場事務

(神奈川縣告示第四一號)
大正十年二月十五日

大正十年二月一日ヨリ神奈川縣種畜場事務ヲ本場ニ於テ取扱フ

種畜種付規程

(神奈川縣令第二〇號)
大正十年二月廿二日

第一條 本規程ニ依リ種畜ノ無償種付ヲ行フ

種付ヲナス種畜ノ種類ハ種畜場長之ヲ公示ス

第二條 種畜ノ種付ヲ受ケムトスルモノハ種畜場長ニ願出テ豫メ牝畜ノ検査ヲ受ク可シ但シ牛ハ生後

十五箇月豚山羊緬羊ハ同六ヶ月家兔ハ同三ヶ月以上ノモノニアラサレハ検査ヲ受クルコトヲ得ス

前項ノ検査ハ期日及場所ヲ指定シ之ヲ行ヒ合格シタルモノニ對シテハ種付合格證ヲ交付ス其ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ一ケ年トス

第三條 種付ヲ許可スル牝畜ハ左記各號ニ適合シタルモノニ限ル

一、年齡 牛ハ十八ヶ月豚、山羊、緬羊ハ八ヶ月家兔ハ四ヶ月以上ノモノ

一、資格 各畜其ノ種類特有ノ標徴ヲ具備シ体格強健資質優良ナルモノ

第四條 種付合格證ヲ受ケタル牝畜斃死其他ノ事由ニ依リ種付不能トナリタルトキハ其ノ事由ヲ具シ種付合格證ヲ返付スヘシ

第五條 種付ハ種畜場長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行ヒ種付ヲ了シタルモノニハ種付證ヲ交付ス

第六條 種牝畜疾病疲勞其ノ他ノ事故ニ依リ種付ニ不適當ト認ムルトキハ種付ヲ中止ス

第七條 出張種付ヲ受ケムトスル者ハ種付豫定頭數出張所期間ヲ記シ願書ヲ種畜場長ニ差出スヘシ

前項ノ出願アリタルトキハ種畜場長ハ實地調査ヲ行ヒ必要ト認ムルモノニ限り期日ヲ定メ之ヲ許可ス

第八條 種畜ノ出張期間中ニ要スル費用ハ出願者ノ負擔トス

九

第九條 種付ニ起因セル損害ニ對シテハ種畜場長ハ其ノ責ニ任セス

第十條 左記ノ場合ニハ種付ヲ停止シ又ハ種付許可ヲ取消スコトアルヘシ

一、家畜傳染病豫防上必要ト認ムルトキ

一、牝畜疾病其ノ他ノ事由ニ依リ種付不可能又ハ不適當ト認メタルトキ

一、他畜ノ種付ヲ行ヒタル後牛ハ二ヶ月豚、山羊、綿羊ハ一ヶ月以内ノモノ

第十一條 種付ヲ行ヒタル牝畜ノ所有者又ハ管理者ハ左記ノ場合ニ在リテハ十日以内ニ其ノ旨種畜場長ニ届出ツヘシ

一、分娩墮胎又ハ不受胎ヲ認メタルトキ

一、分娩前他ニ讓渡シ又ハ斃死亡失シタルトキ

第十二條 種付ヲ受ケタル者ノ出願ニ依リ産仔ノ血統證明書ヲ交付ス但シ産仔ノ年齢ハ續ハ三ヶ月乃至十二ヶ月其ノ他ノモノハ二ヶ月乃至六ヶ月以内ニシテ検査ノ結果繁殖用ニ適スルモノト認メタルモノニ限ル

前項ノ證明書ハ再交付ヲ爲サス

第十三條 種畜場長ハ種付牝畜又ハ其ノ産仔ノ検査ヲ行フコトアルヘシ

第十四條 第十條第三號ノ牝畜ニ種付ヲ受ケ又ハ第四條第十一條ノ手續ヲ怠リタル者ニ對シテハ再ヒ種付許可ヲ爲ササルモノトス

付許可ヲ爲ササルモノトス

附 則

本規定ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

種 畜 配 付 規 程

(神奈川縣令第二十一號) 大正十年二月二十二日

第一條 神奈川縣種畜場ニ於テ生産又ハ育成シタル種畜種禽種卵ハ本規程ニ依リ之ヲ配付ス

第二條 本規程ニ於テ種畜種禽ト稱スルハ繁殖用ニ供スル牛、豚、山羊、綿羊、家兔及鷄鶩ヲ謂ヒ種卵ト稱スルハ其ノ卵ヲ謂フ

第三條 配付スヘキ種畜種禽種卵ノ種類ハ種畜場長之ヲ公示ス

配付價格ハ評價格ノ二分ノ一以内トシ種畜場長之ヲ定ム

第四條 種畜種禽種卵ハ左記ノ者ニ對シ種畜場長必要ト認ムルモノニ限リ之ヲ配付ス

一、郡市町村又ハ郡市町村農會

一、畜産組合又ハ知事ノ認可ヲ受ケ設置シタル畜産團體若ハ畜產業者

一、官公署又ハ公立學校

第五條 種畜種禽種卵ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ其ノ種類性數量ヲ記シタル願書ヲ隨時種畜場長ニ差

出スヘシ

第六條 前條ノ出願ニ對シ種畜場長配付ヲ許可スルトキハ價格數量其ノ他配付ニ關スル事項ヲ定メ之

ヲ通知ス

前項配付金ハ明治四十四年三月縣令第二十二號縣稅外諸收入徵收規則ニ依リ之ヲ徵收ス
種畜場長ハ配付前其ノ種畜種禽ノ疾病其ノ他ノ事由ニ依リ指定事項ヲ變更シ許可ヲ取消ス
コトアルヘシ

前項ノ場合ハ其ノ旨ヲ通知シ既納金ニ對シテハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付ス

第七條 種畜種禽種卵ノ配付ヲ受クル者ハ指定ニ依リ配付代金領收書ヲ種畜場長ニ提示シ配付物件ヲ受領スヘシ

第八條 種畜種禽種卵ノ配付ヲ受クル者指定事項ノ履行ヲ怠リタルトキハ許可ノ効ヲ失フモノトス但シ種畜場長ニ於テ承認シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 種畜場長ハ配付シタル種畜ノ血統證明書ヲ交付ス配付シタル種畜種禽種卵ニシテ繁殖能力缺如又ハ隠レタル瑕疵其ノ他如何ナル事故アルモ種畜場長ハ其ノ責ニ任セス

第十條 種畜種禽ノ配付ヲ受ケタル者ハ配付ノ日ヨリ起算シ種牛ハ四年種豚、山羊、綿羊ハ二年種禽家兎ハ一ヶ年本縣内ニ於テ繁殖用ニ供スル義務アルモノトス

前項ノ期間中止ムヲ得サル事由ニ依リ種用ヲ廢セントスル者ハ種畜場長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第十一條 配付ヲ受ケタル種畜第十條ニ規定シタル期間中ニ斃死撲殺若クハ亡シタルトキハ廿日以内

ニ種畜場長ニ其ノ旨届出同時ニ血統證明書ヲ返付スヘシ

第十二條 配付ヲ受ケタル者ハ第十條ニ規定シタル制限期間中ノ飼育及蕃殖成績ヲ毎年一月末日限リ左記様式ニ依リ又種卵ノ孵化成績ハ其ノ都度種畜場長ニ届出ツヘシ

第十三條 第十條ノ義務ヲ果サス又ハ第十二條第三條ノ手續ヲ怠リタル者ニ對シテハ再ヒ配付ヲナサザルモノトス

附 則

様 式

種 畜 成 績 (大正 年十二月末日調)

配付ヲ受ケタル種牛、豚、山羊、綿羊別	發育ノ狀況	牡畜種付頭數	牝畜分娩月日計	流産其ノ他ノ事故

右及届出候也

市郡 村町 字

氏

名 印

年 月 日

神奈川縣種畜場長宛

種付種畜ノ種類

(神奈川縣公報第八五一號)
大正十年三月四日

種畜種付規程ニ依リ種付ヲ行フ種畜ハ左ノ種類トス

左記

- 一種 牛 ホルスタイン種
- 一種 豚 ヨークシャー種

配付種畜ノ種類

(神奈川縣公報第八五一號)
大正十年三月四日

種畜配付規程ニ依リ左記種類ノ配付ヲナス

左記

- 一、種 豚 ヨークシャー種
- 一、種禽種卵
 - ・白色レグホーン種
 - ・褐色レグホーン種
 - ・黒色ミノルカ種
- 名 古 屋 種
- 横斑ブリマスコック種

種牛受託育成規程

(神奈川縣令第八六號)
大正十年七月八日

第一條 種牛ニ供スル目的ヲ以テ幼牛ノ育成ヲ種畜場ニ委託セムトスル者ハ本規程ニ依ルヘシ

第二條 委託育成ヲ許可スルモノハ左記各號ノ資格ヲ有スル乳用種ノ牡牛ニシテ種畜場長ノ適當ト認ムルモノニ限ル

一、生後六箇月以上十二ヶ月以下ノモノ

二、血統明確、體格優良體質健全ニシテ育成後種用ニ適スル見込アルモノ

第三條 育成ヲ委託セムトスル者ハ隨時別記様式ニ依リ願書ヲ種畜場長ニ差出シ指定セラレタル期日及場所ニ於テ幼牛ノ検査ヲ受クヘシ

第四條 受託期間ハ壹ケ年以内トシ種畜場長適宜之ヲ定ム但シ種畜場長ハ場合ニ依リ其ノ期間ヲ二箇月以内伸長スルコトヲ得

第五條 育成料ハ壹箇月金拾圓トシ日割計算ヲ以テ前納セシム

第六條 育成料ハ明治四十四年三月縣令第二十二號縣稅外諸收入徵收規則ニ依リ之ヲ徵收ス

第七條 受託期間中左ノ場合ニ在リテハ受託許可ヲ取消スコトヲ得

一、將來種用ニ供シ得ル見込ナキニ至リタルトキ

二、育成料ノ納付ヲ怠リタルトキ

三、種畜場長ニ於テ正當ノ事由ニ依リ必要ト認メタルトキ

第八條 受託種牛疾病斃死其ノ他不可抗力ニ由ル損害並育成後不良ノ爲生シタル損害ニ對シテハ種畜場長ハ其ノ責ニ任セス

第九條 受託牛ノ輸送ニ要スル費用ハ委託者ノ負擔トス

第十條 受託育成ヲ止メタル場合ニ於テ既納育成料ニ剩餘アルトキハ日割計算ヲ以テ委託者ニ還付ス

第十一條 委託者ハ第四條ノ期間ヲ滿了シタル育成種牛ニ就テハ還付ヲ受ケタル日ヨリ向フ參年間左記

各號ノ規程ヲ遵守スル義務アルモノトス

一、本縣内ニ於テ種用ニ供スルコト

二、飼養場所及官理人ヲ定メ若ハ之ヲ變更シタルトキ又ハ斃死亡失ノ場合ハ直ニ其ノ旨種畜場長ニ届出ツルコト

三、前年中ノ種付成績ヲ毎年一月限リ種畜場長ニ届出ツルコト

四、他ニ讓渡セムトスルトキハ讓受人ニ於テ委託者ノ任スヘキ義務ヲ繼承スル旨ヲ附記シ讓渡人ト連署ヲ以テ種畜場長ニ届出ツルコト

第十二條 已ムヲ得サル事由ニ由リ種用ヲ廢セムトスルトキ又ハ縣外ニ移出セムトスルトキハ種畜場長ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條 第十一條第一號第四號又ハ前條ニ違反シタル者ニ對シテハ既納育成料ノ十八分ノ一ニ第十一條ニ規程セル義務年限中義務不履行ノ月數ヲ乘シタル金額ヲ更ニ徵收ス

附 則

第十四條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(様 式)

委 託 育 成 願

一、何々種牡牛

何 々 號

生年月日	何年何月何日
毛色	何毛
特徵	何
体尺	何尺何寸何分
血統	父何々種何々號 母何々種何々號
生産場所	何府何町

右貴場ニ委託致度御許可ノ上ハ受託育成規程ヲ遵守可致此段相願候也

住所

大正 年 月 日 所有者(代表者) 氏 名 印

神奈川縣種畜場長宛

(非賣品)

大正十年十二月十九日 印刷
大正十年十二月廿四日 發行

神奈川縣種畜場

橫濱市伊勢町三丁目五十七番地

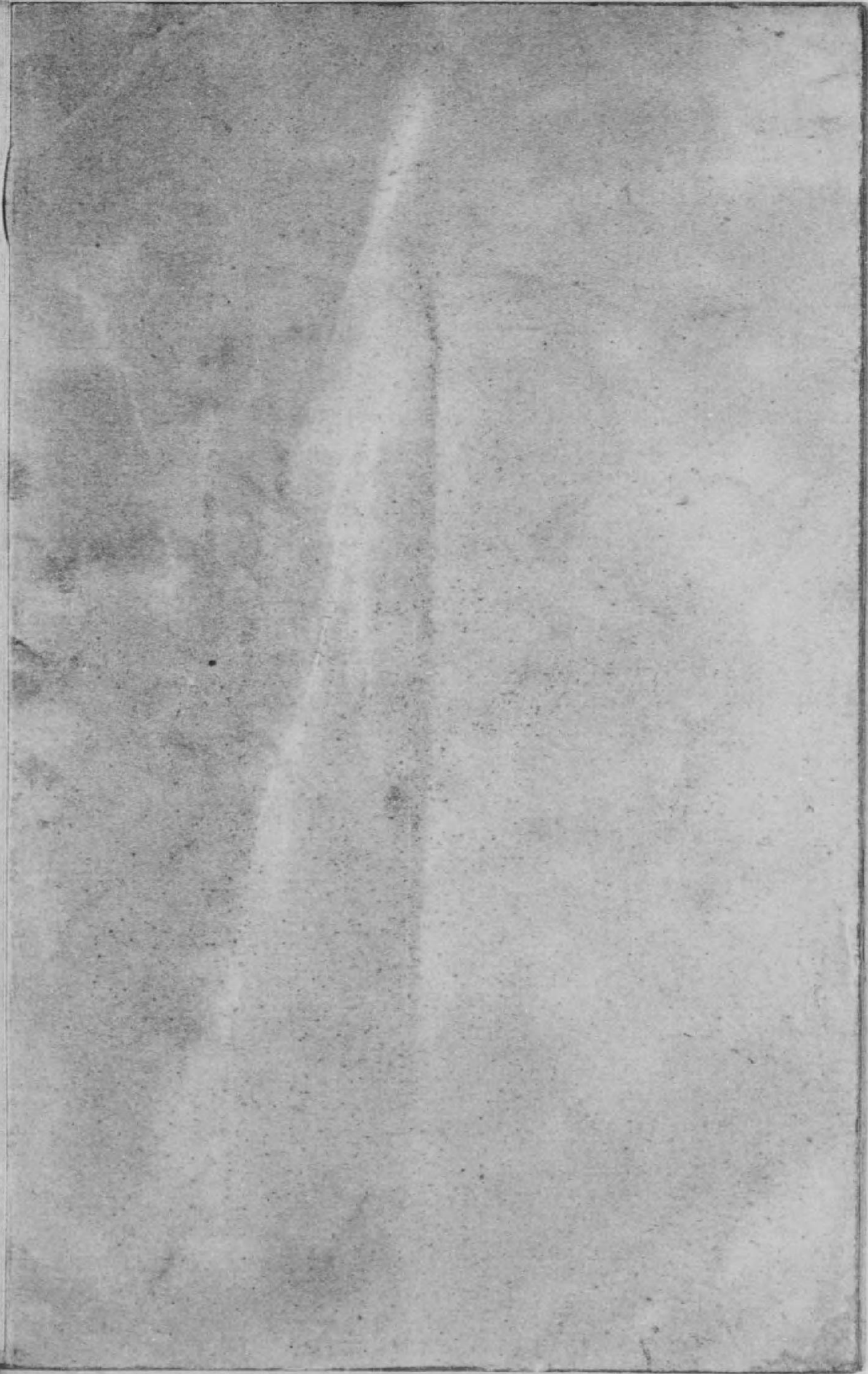
印刷者 染谷松三

橫濱市伊勢町三丁目六十一番地

印刷所 柴田印刷所

142
509

14.
2
1
509



終